

8月17日台風7号の影響に伴う出水における 北上川上流域のダムの治水効果について（速報）

北上川ダム統管理事務所の管理する5ダム（四十四田、御所、田瀬、湯田、胆沢ダム）では、1745万m³（25メートルプール約5万個分に相当）をダムに溜め込み、下流河川の水位低減に寄与しました。

今回の出水により四十四田ダムでは、約2万m²にもおよぶ大量の流木やゴミを補足し、流木による二次的な被害の軽減にも貢献しました。

気象状況によっては、ダム放流量が増加する場合がありますので、今後の情報に注意してください。

・8月18日 13:00現在の所管ダムの状況（各数値は速報値です）

| | 流域平均 総雨量 (mm) | 最大流入量 発生日時 | 最大流入量 (m ³ /秒) | 最大流入時 放流量 (m ³ /秒) | 貯め込んだ 水の総量 (万 m ³) | 25 mプールの 容積相当 (個) |
|-----------------|---------------------|---------------|------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------|
| 四十四田ダム (放流中) | 86 | 17日 16:20 | 498 | 212 | 402 | 11160 |
| 御所ダム (放流中) | 85 | 17日 14:00 | 670 | 298 | 276 | 7660 |
| 田瀬ダム (放流中) | 113 | 17日 17:40 | 409 | 280 | 286 | 7940 |
| 湯田ダム | 78 | 17日 16:20 | 205 | 54 | 511 | 14190 |
| 胆沢ダム | 81 | 17日 12:50 | 131 | 19 | 270 | 7500 |
| 五ダム合計 | | | | | 1745 | 48450 ≒5万 |

※ 25メートルプールの容積 (360m³)

※ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧頂けます。

ホームページ URL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

<岩手県政記者クラブ>

問い合わせ先

国土交通省 北上川ダム統合管理事務所

副所長（管理） 山田 光雄

管理第一課長 三浦 高史

TEL 019-643-7831（代表）

四十四田ダム

四十四田ダムでは、防災操作を実施しました。

8月17日16時20分に流れ込む水量の最大498m³/秒を確認し、
286m³/秒をダムに貯めました。

その結果、四十四田ダム下流の館坂橋地点で、1.08m程度、川の水位を低下させたと推定されます。 ※1

なお、大雨により、下流河川の水位上昇が予想されます。
今後の情報に注意して下さい。

■位置図



※1: 四十四田ダムから館坂橋地点までの距離は約7kmであり、時間差を考慮したものです。

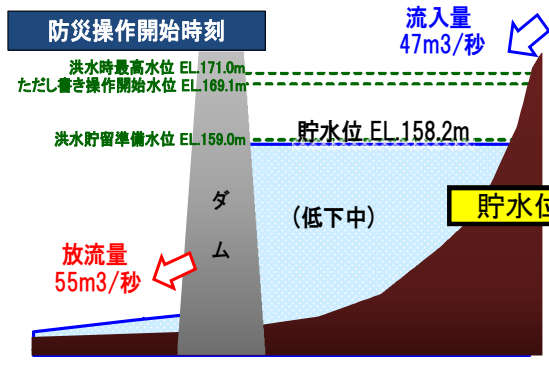
数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。

四十四田ダムでは、最大流入量498m³/秒を記録し、
402万m³（25メートルプール11160個分相当）を
ダムに溜め込みました。

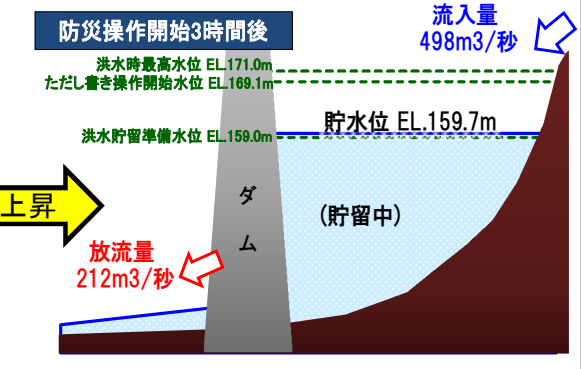
※25メートルプール: 幅12m × 長さ25m × 深さ1.2m
約360m³ = 360トン

■ダムに水を貯めている状況図

8月17日 12:30 時点の状況

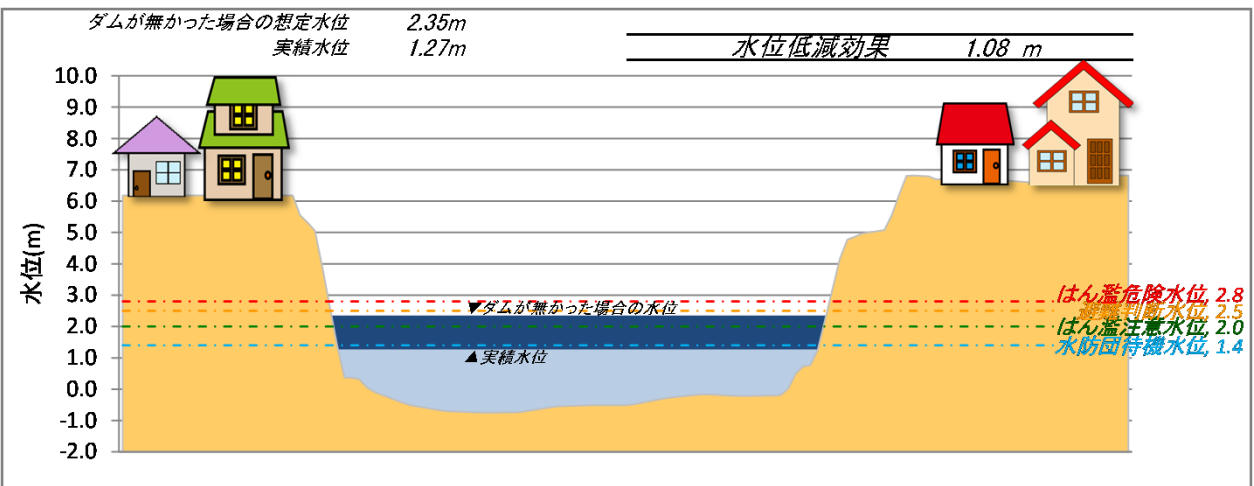


8月17日 16:20 時点の状況



■館坂橋付近における水位低下効果図

8月17日 16:20 時点の状況



御所ダム

御所ダムでは、防災操作を実施しました。

8月17日14時00分にダムに流れこむ水量の最大670m³/秒を確認し、
372 m³/秒をダムに貯めました。

その結果、御所ダム下流の
太田橋地点で、0.96 m程度、川の水位を低下させたと推定されます。 ※1
なお、大雨により、下流河川の水位上昇が予想されます。
今後の情報に注意して下さい。

位置図



※1: 御所ダムから太田橋地点までの距離は約10kmであり、時間差を考慮したものです。

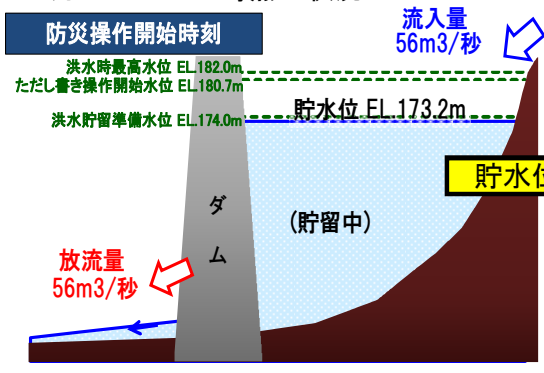
数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。

御所ダムでは、最大流入量670m³/秒を記録し、
276万m³（25メートルプール7660個分相当）を
ダムに溜め込みました。

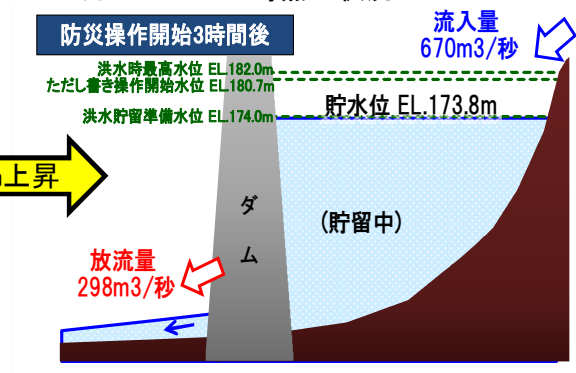
※25メートルプール: 幅12m × 長さ25m × 深さ1.2m
約360m³ = 360トン

ダムに水を貯めている状況図

8月17日 11:00 時点の状況

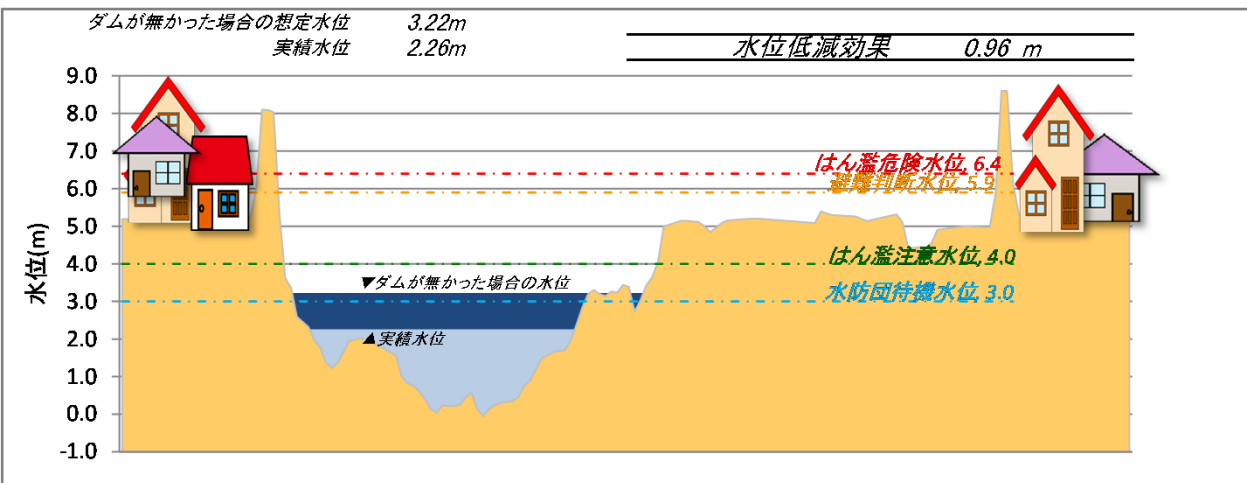


8月17日 14:00 時点の状況



太田橋付近における水位低下効果図

8月17日 15:00 時点の状況



田瀬ダム

田瀬ダムでは、防災操作を実施しました。

8月17日17時40分にダムに流れ込む水量の最大409m³/秒を確認し、
129 m³/秒をダムに貯めました。

その結果、田瀬ダム下流の
安野地点で、0.57 m程度、川の水位を低下せたと推定されます。 ※1

なお、大雨により、下流河川の水位上昇が予想されます。
今後の情報に注意して下さい。

位置図



※1: 田瀬ダムから安野地点までの距離は約24kmであり、時間差を考慮したものです。

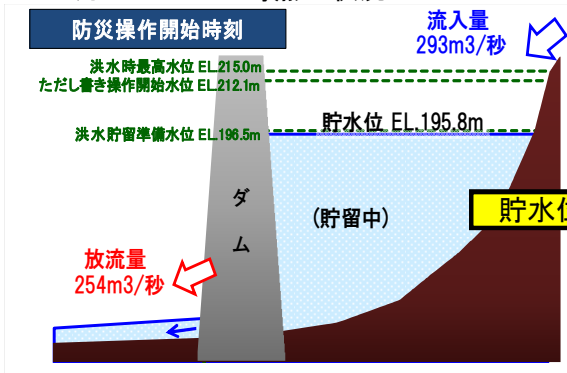
数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。

田瀬ダムでは、最大流入量409m³/秒を記録し、
286万m³（25メートルプール7940個分相当）を
ダムに溜め込みました。

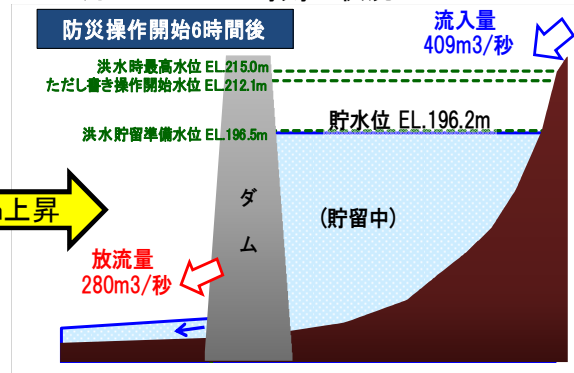
※25メートルプール: 幅12m × 長さ25m × 深さ1.2m
約360m³ = 360トン

ダムに水を貯めている状況図

8月17日 13:50 時点の状況



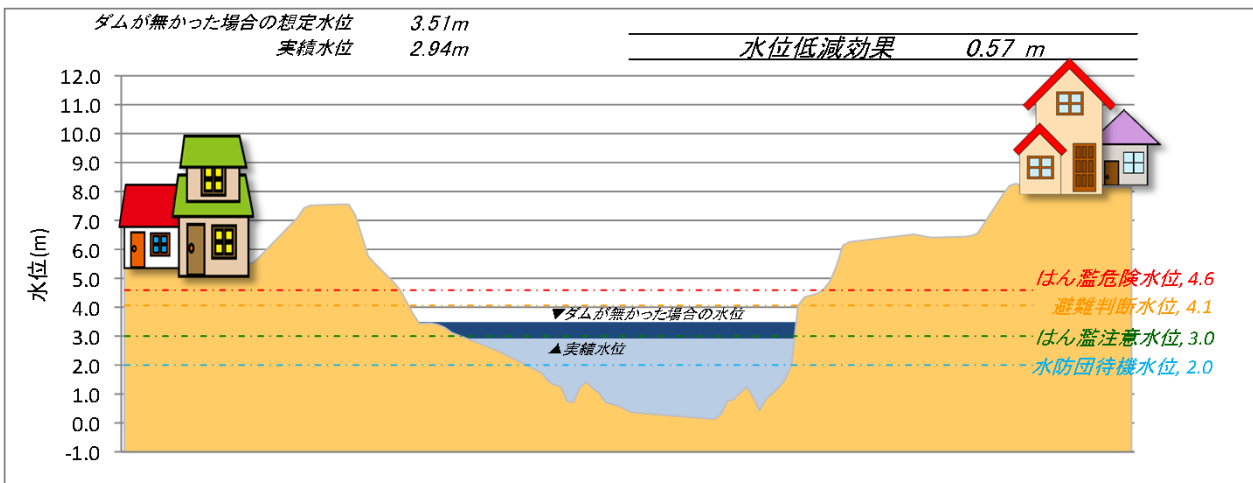
8月17日 17:40 時刻の状況



貯水位 0.4m上昇

安野付近における水位低下効果図

8月17日 20:40 時点の状況



しじゅうしだ
四十四田ダムの流木捕捉効果

平成28年8月17日（台風7号）

洪水時には水だけでなく樹木等も一緒に流れてきます。

今回の出水により、ダムで捕捉した流木の量は、**約20,800m²**であり、この量は、**25mプール約64個分**に相当します。

ダムがなかった場合は、流木がそのまま河川へ流れ、橋に引っかかり流下を阻害したり、取水口を閉塞して取水の障害となったり、海まで流下して大きな被害が予想されます。

このように、ダムは洪水の軽減だけでなく、流木による二次的な被害軽減にも貢献しています。

※数値は速報値

※25mプール:L25m×W13mとした場合



四十四田ダム流木状況 (H28. 8. 18)

◆ダムがなかった場合◆
橋に引っかかった流木(事例)

